

21/3/18 名古屋市議会経済水道委員会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

名古屋城：資料 軽量盛り土 部会 日、構成員の発言要旨
文化庁からの指摘 教育委員会との協議内容

委員長：市長に対する質疑

渡辺：市長、ありがとう ひさしぶりに委員会に出席
天守閣木造復元 反対していない おしろ応援
本当に今進めているのでいいのか 心配
会派においても、どうする？応援する この状態では応援できない
多々ある
いいにくいことも言わせていただく
珍しいこと 会派で集約
団長から
そういった立場で
行き過ぎることがあればお許しを
まず 資料 まとめ等をもても、検討、解析中
いまからでは3月25日有識者会議 間に合うのか
市長、石垣調査を含め 白紙の答案を文化庁に提出するのか
最高責任者にお尋ねしたい

河村市長：考える、検討中
間に合うかという質問か
ずっと局長に任せている
文化庁との交渉を任せている 信頼している
文化庁 名前は申し上げないが、4月に提出いただければ
審議会に載せよう？ 熟語の正しいのは
文化庁とはしょっちゅう なんでも相談してくださいよ
はじめての木造復元 これが国宝第1号だった
丁寧なうえにも丁寧にお願いしたい
当局は十分対応しているのではないかと思っている

渡辺：提出した資料を見ても、引き続き検討と書いてある
内堀 軽量盛り土で埋めるのは当然と結論
できなければ切腹と言った
職員にはやくどうだ、文化庁に資料を出させるようせかせるから
気持ちを汲んで、しっかりやらないといけないのに

河村市長：72になる

知っているじいさんばあさん あの世行く前に作って
本物にあがりたい ものすごく多い
早くやろうというのは文化庁に言っている
せかせる、無理には一切ない

渡辺：2年前 文化庁通ると自信いっぱい

今度こそ議題にあがるのか
どうも、耳に入ってくる 市議団が調査
有識者会議
とおらないような気がする
会派は多く言っている
心配している
相手あるところだからわからない？

河村市長：文化庁から

「学者、専門家いっしょになって、理解いただいて。
宿題 細分化された 5項目だったかな。
条件とすればそういうこと。
クリアしたら4月にだされて、5月にかけてましようと言っている。
相談することは相談してくださいよ。
学者の皆様とはもう1回あるよう。
進めていこう。必ず5月文化審議会にはかけられると信じている。

松尾局長：5月に文化庁 復元ではない

今回 宿題を3月中にまとめて4月にかける
復元はあとになる
補足させていただきたい
環境を整備させていただく

渡辺：復元を 局長言ったが、指摘を受けた回答を言われる

申請を出すのは、解体と復元を一緒
解体を出して、文化庁は「取り下げろ」
復元を出す
復元の問題 局長が言われる
副申書 教育委員会を添付しないとイケないが、
ついてない
いいかね 僕は言わないとイケない
副申書 大丈夫ですよ お墨付きを教育委員会が添付して出す
ちがうかね

調子のよいことを言うが
教育委員会はずけないと言っている
だせるのか？
局長にもとめるか

佐治所長：追加情報に教育委員会の副申がいるか
必要がないと認識

渡辺：つけなければ文化庁は受け取らない
ごまかしてはいけない
5月に審査 7月検討委員会
書類が出せない
ごまかしだがね
出すのは指摘を受ける ご了解
ずっと遅れる
いつのことかわからない
市長、きいていて、いつのことかわからないということ
教育委員会副申つけなければ、文化庁受け取らないこと

河村市長：副申ははじめて聞いた

渡辺：報告しないといけない

佐治所長：もう少し補足
解体にかかる現状変更許可
令和元年7月17日
確認事項 提出している
そのときも、副申を出していない
指摘事項 準備中
途中なので、副申は必要ないと認識

渡辺：文化庁はそんなことっていない
解体をいっぺんおろして、一緒に出しなさいと言っている
3月末 有識者がやって、文化庁に出す
文化庁7月さらされる
解体と復元一緒に出す
副申を出す
間に合わないと言っていると同じ
文化庁確認している
教育委員会 「一緒に出す気持ちがない」

出せないということ

河村市長：一体でやるときは、変更でよいとはっきり聞いている
それが、今回のつながりがわからない

渡辺：4月上旬に、回答だけ出して、
復元はいつ出すの

佐治所長：解体と復元 一体の現状変更許可
文化庁と相談していない
まず宿題を返して、復元の議論を進めて
あらためて解体と復元一体
出し方は取り下げるのか、付け足すのか調整する
まだ先になる

渡辺：市長があせらせるので、
順調で行くと、5月 7月 全然あかん
だれが原因か
聞いてくれと言っている
幻の小天守閣 調査が力不足でできない学芸員
なぜ超一流の学者より、学芸員が埋め戻して
軽量盛り土大丈夫と結論を出せるのか不思議
市長に問いただしてほしい

河村市長：幻の小天守 固まったわけではないが、
実際作られなかった
一致
5-6年前
関係あるか知らないが、踏まえて専門家が
話されて進めればよい
そうなったと伺っている
文化庁 専門部会の理解を得てと聞いている
もう一回あると聞いている
適正に行われている

渡辺：浅井市議 本会議
二課長、調査官の実名
文化庁からクレーム来ていない
「お役に立ちましたか？」信頼関係
人と話している 一体だれと話したのか

市長は実際行っているのか？
信頼関係があるのか

河村市長：最近は直には行っていない
実名はいかんですけどトップ、課長、専門家

渡辺：指摘を受けたところ
仮に解体と復元一緒
解体だけが認められたらどうですか？
きっとそうなるか どう思うか

河村市長：トップの方が「両方一緒にだして。」
丁寧に進んでいこう

渡辺：浅井さん 誰に会ってと言っている
トップとはだれか
市のトップとして 名前の人 いろいろある
総理大臣か？
いっぺん聞きたい

河村市長：文化庁 先様に了解をとって
それから話をする

渡辺：実際にトップの方が市長に言っているのか
団員が調べているが、すれ違う
聞いてみてくれ
機会があれば明確にして
次に行くが、浅井議員が、局長は、市長の公約
木造復元はしないとメールを送った
市長マニフェストばっさり どう思うか
彼もよく調べてきた
木造復元 | 丁目 | 番地
市長さん

河村市長：どういうふうに言われたか
あんたが木造復元しないといった？
はっきりしなかった

渡辺：メールで「松尾局長は、市長の公約の
木造復元はしないと関係者に送った」とした

河村市長：メールはしない
前後の文脈知らない そんなことはないと思う

渡辺：「市長の公約としての木造復元ではなく、
行政ベースの木造復元に大きく舵を切る」

河村市長：本人のことを聞かないといけない
竣工時期ありきではないと、局長が横で言っている

渡辺：市長、局長、観文 意思疎通が図られていない
いい結果が生まれていない
もっと緊密に「丁目」番地
できるだけできるように 団の中で意見が出る
いやらしい言い方
「公約だから進んでいるように見せたいのだから、
局長の下では進まない」たくさんいる
マニフェストとしての成果はゼロ
寄付した人 裏切った
市民に謝罪してはどうか

河村市長：公約は大きい
名古屋市の1000年の計 世界の文化財を作る
使命
はじめてなので、文化庁も言っている
スケジュール はじめのとおりいくのはよいが、
思い通りにいかないことがあっても、しょうがないのだろうな
辛抱しながら、文化庁相談しながら
生きているうちに何とかやってちょうよ

渡辺：もともと、木造復元 税金使わない
入場料で賄う
本丸御殿 完成しても230万人
360万人は極めて難しい
陽子線 毎年赤字がでるからやめた
名古屋城も赤字なら止めないといけないのでは

河村市長：今度の文化庁
本丸全体の復元で行こう
超ビッグな話 世界の文化財になるのは確実

江戸城 400万—500万人
物理的に入れないから
名古屋なので、東京大阪 リニアできる
7000万人都市ができる
焼けたものでも復元
復興のシンボル 努力はしないとイケないが、
ものすごい数の人が来てくださると信じている

渡辺：採算が合うと言っているよう
採算が合わないと言っている
市長 陽子線毎年7億赤字が出ると言っている
たちどまってどうだ 考えるのはどうか
入る入るといふ論法ばかり
赤字もありうるのでは

河村市長：陽子線の話をするとうる混乱する
戦争で焼けた悲しみを克服した
奈良ドキュメント
同じ場所で同じ材料で図面
なくなったかもしれないが本物がある
パルテノン神殿
本丸全体 名古屋城だけでなく
リニアから
経済効果 名古屋市民の誇り
ねえ義郎さん
必ずや成功すると思う

渡辺：木造復元は、史実に忠実だ
図面がある
基礎構造にケーソンを使っている
復元的整備になってしまう
昔の奴 あとから必要になる
階段をつけるとどうなる

河村市長：ケーソン 最終的には文化庁が判断
7000トン
安全のためにも必要
階段とか復元的整備 規約のなかに、安全面には別途配慮
名古屋城で復元できなければ、日本で復元はダメでしょう
こんだけ資料がそろってて、名古屋市民の情熱があって

固い信念

渡辺：結局、解体と復元一緒に出せ

資料 副申書を一緒に 当たり前

文化庁が言っている

とてもじゃないが、なにかいかんような気がする

許可がでない

そういうようなさなかで、今度も予算が出ている

復元の申請すら今日、できないような状況

回答するだけ

いつのことかわからない

延びていく

本丸御殿 10年かかって着手

短兵急にする必要がないのでは

河村市長：文化庁 はじめてだから丁寧なうえにも丁寧に

Is 値0.14

文化庁の指導に従って丁寧にやっている

名古屋市の行政 文化庁を信頼して話を進めていけば

世界の木造の宝ができると思っている

渡辺：混乱したら原点に戻れ

竹中と技術提案 2020年、2022年、2028年

法律的に契約 一般的にどういう風に解釈して

問題が起こるのではないか

そこらあたりはどうか

河村市長：技術提案交渉方式、文化庁、国土交通省

これですすめよう

たまたま名古屋城 東京オリンピックのほかは

日本で初めて

文化庁「竹中の技術提案は素晴らしいですね」

丁寧に法律にのっとって手続きを進めている

違法にはありえない

渡辺：法律的な基本協定に違反するのではないか

そのことについて質問している

はぐらかすのやめや

あかんぜ

河村市長：委員長と協議して、今の伸ばしていく範囲
契約上問題ないと聞いている

渡辺：いつまでいろんな角度から言っても
市長の独特の答弁で困っている
「文化庁の正式な許可を受けてから予算執行する」
市長がいうから当局もやっている

河村市長：文化庁と相談しながら丁寧にしている
行政と約束 ご議決いただきたい

渡辺：最後 解体と復元 きちっとしたものは
いつだせるのか
ずっと出せないとみている
市長ではなく当局に聞きたい
たとえば3月25日ごたごたして
本当に出せるのか
出しても、指摘事項の回答
きちっとしたものは研究検討
はっきりしないといけない
いつだせるのか
副申書をつけて出せるのか
丁寧にやっとなる 5年先か10年先か

松尾局長：本会議でも答弁したように、
竣工時期ありきの復元はうまくいかない
文化庁に提出しているのは、解体申請のみ
そのことに対して 懸念がある クリアしてね
指摘をいただいている
1年半も前の指摘
いつまでもほったらかしにできない 宿題にこたえようとしている
5月審議会にかけるかわからない
解体に意見
次は、どういう木造かということになる
資料として出している
手順を踏んでやりたい
天守閣の木造復元だけ
木造復元だけでなく、全体の整備をしたい
文化庁「それはいいね」
一定理解をしていただいていると理解している

一時期に合体として申請するのはいずれくる
全力を挙げたい

渡辺：あなたが思っているだけ
向こうは思っていない
文化庁はそう思っていない
思うようにいかない
じぶんよがりで好意的 大きな間違い
うまくいかなかったら責任はどうとるか
いつまでも作る作る ギクシャク
5年10年20年
河村市長いない あの世にいったらと
懸念がある
反対するわけではないが、苦言を呈したい
終わる

さわだ：市長に聞きたい
渡辺委員の議論を参考
この先の議論に関係する
所管外
陽子線参考意見 7億円余赤字 誤った見積もり、
誤った資料、役人、人（市長）、議会にある
発言をしているが、間違いはないか

河村市長：発言事実 中身もそう
140億見積もりが違う

さわだ：認められた
収支計画の作成時期 委員会の答弁
木造復元 市長の意向で起債に
総務省の同意が必要
観光その他事業債 採算がちゃんととれる
収支相償と認識
竣工時期が決まらない以上、収支計画ができない
本丸全体整備 この費用はどこから出てくるのか
収支計画に入っているのか

上土居：そのとおり

さわだ：正確な収支計画がない中で、様々な意見

竣工時期ありきの収支計画

正確な収支計画

議案に対して議決してきた

この委員会 505億円わかっていて、議決しないとイケないのか

否決するのか可決するのか

当局の資料でしかわからない

調査して こういつてましたではなく、

オフィシャルな資料で議決するしかない

当時の議会、市長 資料を出して議決したはず

議会の仕組み

あとからになって、あいつが悪い、誤っていた

市長に付き合ってもらえない

より正確な収支計画、妥当性

文化審議会

おそらく文化審議会が相当進まないといけない

何も資料なしで判断

予算を提出しないでください

河村市長：これだけの世紀の工事

名古屋はチャンス

図面も残っている

世界ではじめて作る

文化庁 着実に進める

こんな確実な投資はない

ぜひここまで来たので

文化庁 名前聞いてからにしてから

「進めましょう」

さわだ：陽子線 あんなこといわれちゃ

我々も後世の人に批判される

大変難しい判断 不可能

予算を出すのかどうか

河村市長：予算出している

さわだ：収支計画がなくても予算だすのか

河村市長：言い方のスパンがわからないが、

名古屋の城は1000年の価値

確実なもの

さわだ：まったくお答えいただけない
時間の無駄
2022年12月 時期がずっと突っ走っている
天守閣傷一つついていない
局長「数々の失敗を繰り返した」
結果、複数回にわたり竣工時期が変更になった
混乱のほとんどが、自分の思いだけで
竣工時期を決めてきた河村市長
一切かかわらないでください

河村市長：とんでもないことを言われる
一人の市民、納税者
1000年の宝を作ろうとしている

さわだ：河村市長がいないほうが、木造復元うまくいくのではないかと
完成時期定まっていない中、一日も早く
市民の皆さんの血税投入しなくてよいには
正確な収支計画
竣工時期いつにするか 収支計画できない
少なくとも何年までには言えない
市長に判断いただくしかない つらい
課長に本当の復元をやらせたい
市長の仕事 できないようなら市長をやめていただくか、
国に言って文化庁の側面支援を
政治家としてのリーダーシップを発揮し、
「はやくやれ」だけでなく、竣工時期を定める決断しないと

河村市長：許可権者は文化庁
文化庁も相談乗ってもらっている
おいちょっと待て
匍匐前進しながら、理解しながら進んでいく

さわだ：市長は、あの世に行く前に
世界の文化遺産
ユネスコの文化遺産
スローガンだけ 中身が全くない
4つの宿題 去年の6月に出すはず
今年度3月
復元検討委員会 2年半8回

相当遅れている
宿題クリアして、構台
めちゃくちゃ遅れる
数々の失敗
あの時と状況違う
決断しないと 政治家としての
聞かなくてよい
最後の質問 基本協定書
竣工時期 2022年12月 有効性をしっかり
竣工時期を定めないといけない
総務省に提出しないといけない
必ず決めないといけない
いつ決めるのか

河村市長：文化庁とは丁寧に相談する
勝手に進めたら怒ると思う
竣工時期の相談はしたことがない

さわだ：名古屋市は国に上納している
文化庁によく相談している
その場その場 発言をころころ変えている
竣工時期を決断できるのは市長しかいない

河村市長：私だけではできない

委員長：不規則発言はやめて

さわだ：聞いていない
真剣にやっている
信頼していると言っている
その手続きを言っているわけではない
竣工時期を決断すれば、みんな奮い立つ
決めていただけますか

河村市長：法律的には行政行為
市長がやること 市長が決める
そのためには内部 専門家 学者の皆様
大事にしてくださいと言われている
そういうことに
行政行為の主体 名古屋市長が決断しないといけない

さわだ：当たり前

竣工時期が決まらなると、収支計画が決まらない

河村市長：ご要望は当然のこと

プロセスを踏んでいくことが重要
文化庁 包括的な権限を握っている
丁寧にやるからと言っている
何をおいても重要

さわだ：いつか決断してくださいよ

河村市長：学者の皆様 部会 皆様 市の当局
合意を得て決めさせていただく

さわだ：ありがとう

リーダーシップを期待したが、少し残念

橋本：河村市長 もう二度と聞けなくなってしまうかも

天守閣 木造復元なのか、復元的整備なのか
「本物」こだわりを持っている
天守を含めた全体の整備
大事なこと
予算審議 佐治さんはまだそういう段階ではない
復元なのか、復元的整備なのか

佐治所長：文化庁に具体的計画を提出できていない
判断するのは文化庁

橋本：のんきなことを言っていていいのか

天守 復元なのか、復元的整備なのか

河村市長：これは復元

意外と古くない
文化庁基準を定めている
令和2年 ヨーロッパ 石が残る
燃え落ちたのは木造部分
本物の本物 パルテノン神殿
奈良ドキュメント 木造は焼けてしまうが
3つの要件

あたかもあったように
燃えなかったように実物があったようにみなす
シンボルとしてみなす
こんなチャンス握っているのは名古屋だけ
人間は燃えても終わるわけではない

橋本：判断するのは文化庁
議会も、まさか復元的整備に予算を認めてきたわけではない
エレベーターつけるつけない
市長「エレベーターつけるくらいならやらないほうがよい」
復元的整備ならやらないほうがよいと言って

河村市長：そのくらいの気持ち
名古屋がやろうとしているのはそう
現場が残っている
国産材を使う
こんなのは未来永劫という怒られるが、
それは復元で作ろう 文化庁は喜ぶと思う

橋本：復元は応援したい
何が何でも復元と
場合によっては、復元的整備になろうともやろうということか

河村市長：そう答えてください
こういうものが復元的整備
ランクダウン 文化庁は怒ると思うが、
やらんほうがよい

江上：4つの課題 1年半 2年
いい加減出さないといけない
考えておく、検討
市は「大丈夫」 ほかっておいてはだめだから出す
追加情報としてだす
副申はいらないと思う
4つだけでも時間がかかる
木造復元 石垣保全方針、一部でよいのか、全体か
基礎構造 間をどう支えるのか
石垣 戦後ぐちゃぐちゃにされていて
宝暦にするか、これを前提にするか
こういう議論 何度も出しては返し、

どこかの時点で文化庁「そろそろ申請しては」

松尾局長：手続きとしてはそのとおり

石垣 3月18日

やり切れていないところ指摘

ある程度明確に部会と擦りあっている

ここをしっかりとしないと 部会とも理解している

江上：申請に入るのがいつのことになるのか

いつかわからない

技術提案交渉方式

2017年5月 協定書

2022年12月完成となっている

もう無理だが、弁護士と相談したら、5年くらいは問題ないだろう

名古屋市としてはやってほしい

業者 やりたいとなればずるずる延びると思う

いつまでもやるのは問題

2027年

工程からすれば、5年6年でできるとは思えない

損害賠償多額になる

ここで決断すべき

河村市長：当局に

江上：技術提案交渉方式を決めたのは市長

河村市長：あとで当局

文化庁と相談しないといけない可能性がある

江上：2022年12月は無理

5年くらいはよいとおっしゃったと理解

名古屋城：弁護士と相談

単純に時間が伸びたわけではなく、様々な不確定要素

具体化する

5年延びたからというのが本質的な問題ではない

予測変更 不確定要素を踏まえて、現実的に検討するのは妥当

江上：現時点では見通しがない

5年では無理と思う

当事者同士

市民との約束 いったん見直しをして止める決断は

河村市長：柔軟に考えられる要素もある

基本協定 趣旨から外れるものではないと

それがどうなるのかは検討

江上：見直しは決断しないということか

河村市長：現時点では見直しはできません

江上：意見は

河村市長：できないからしない

江上：技術提案交渉方式 メリット、デメリット

厳しい条件 高度技術、ノウハウ 工期の短縮につながる

そんな早くオリンピックまでにできるわけないだろう

この建設費 250億～400億

技術提案交渉方式 505億

石垣も含めて476億

名古屋城：その通り

江上：工期の短縮の問題 なくなった

請け負った業者 集中的 高い費用

木材製材 機械から自然 安くなる

505億円 短縮されるから高くてもやむを得ない

工期が伸びたら価格はおかしいのでは

河村市長：技術提案交渉方式で提案

竹中も遵守すると言っている

妥当だと思う

江上：期間が設定されたときはそう思われた人はいるかも

今は期間がない

河村市長：技術提案交渉方式は全党一致で即日施行された

発注先は市営住宅のように発注側が設計が決めればよいが

俺の言うことは途中で切っておいて、そんなもの審議にならない

技術が難しい
石垣、鴨居がどうなっている
中部地整の責任者が言ってきた
委員会まで作って、
期限だけではない

江上：何度も聞かされた
我慢して聞いていた
方式そのものはあってもおかしくない
そのこと自体は
問題は、名古屋城を2017年に
2020年7月までに作る
期限2022年12月 いつになるかわからない
見直しが必要ではないか

河村市長：柔軟に考えられる範囲内
相談する
いつまでも長引くとは文化庁いってない
いつだと言っていない

江上：文化庁 名古屋市が許可できますか
期間どうか いうはずがない 権限がない
見直すべきだ
相談するといわれた
最後 505億円 基本協定465億
消費税8パーセント
現時点でいうと、513億

荒井：委員おっしゃる通り465億と書いてある

江上：505億
技術提案
本丸御殿の整備 いった
東北隅櫓、多門櫓
最初にあるものを壊して木造化することない
魅力ある名古屋にするのなら、東北隅櫓、多門櫓で
技術の継承をしては

委員長：総括質疑はこれで終了
その他質問はないか

終了

付議議案 意思決定

暫時休憩

委員長：お待たせをいたしました。

ただいまから経済水道委員会を再開します。

これより、付議議案に対する意思決定を行います。

それでは第1号議案関係分をはじめ、9件を一括議題に供します。

この場合、7号議案について、自民、民主、公明の

三会派共同により、お手元配布の付帯決議が提出されておりますので

合わせて議題とし、各派の意向表明をお願いします。

自民：以下の要望を付してすべての原案に賛成し、

7号議案の付帯決議にも賛成いたします。

名古屋民主：以下の要望を付してすべての原案に賛成し、

7号議案の付帯決議にも賛成いたします。

減税日本：以下の要望を付してすべての原案に賛成し、

7号議案の付帯決議には反対いたします。

観光文化交流局関係

一刻も早い天守閣木造復元を待ち望んでいる市民がおおく

みえると思う中、事業費の上限505億円を遵守して

竣工すること。

公明：以下の要望を付してすべての原案に賛成し、

7号議案の付帯決議にも賛成いたします。

共産：第一号議案 一般会計予算 反対

理由 一つ 名古屋城の天守閣木造復元関連経費は、木造復元の完成期限 2022 年 12 月を断念し、技術提案交渉方式による契約の必要性もないにもかかわらず、事業を強引に進めようとしているから

第七号議案 名古屋城天守閣特別会計予算 反対

理由 これは一般会計予算の名古屋城天守閣木造復元関連経費の反対理由と同じです。以上です。

それでは、これより採決を行います。

採決は、初め7号議案の1件と、次に第1号議案関係分、第14号議案および第15号議案の3件、最後にその他の5件との3度に分けて行います。

それでは初めに、第七号議案について、付帯決議を除く原案について、起立により採決をいたします。

本案を原案通り可決すべきものと決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります（浅井さん）。起立多数であります。

よって本案は原案通り可決すべきものと決しました。

次にお手元配付されております。

第七号議案に対する付帯決議について、起立により採決をいたします。

付帯決議を付すことに賛成の方の起立を求めます。起立多数であります。

よって、第7号議案に付帯決議を付すことと決しました。

次に、第一号議案関係分第14号議案および第10号議案について、起立により採決をいたします。

各案を原案通り可決すべきものと決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。

よって本案は原案通り可決すべきものと決しました。

最後にその他の5件についてお諮りいたします。

各案はいずれも原案通り可決すべきものと決しましてご異議ありませんか。

ご異議なしと認めます。

よって各案はいずれも原案通り可決すべきものと決しました。

なお、委員長報告文の作成につきましては、正副委員長一任扱いでよろしいでしょうか。

はいそれではさよう取り扱わせていただきます。

この場合当局より発言を求めておられますのでお許しいたします。

広沢副市長； ¥：お許しをいただきましたのでご挨拶申し上げます。

経済水道委員会に付議されました各議案につきまして、3月10日より慎重なるご審議をいただき本日ここにご議決賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

審議の中では数多くの貴重なご意見そして、厳しいご指摘をいただきました。

令和3年度予算の執行に当たりましては、いただきましたそれらのご意見等に十分留意をさせていただきながら、万全の努力をいたす所存でございます。

今後とも格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、私の御礼とさせていただきます。

ありがとうございました。

次に、閉会中の所管事務調査についてお諮りいたします。

あらかじめ正副委員長において協議いたしました結果、お手元に配付の事項につきまして、議長に対し、それぞれ閉会中の継続調査の申し出をいたしたいと存じますがご異議ありませんか。

ご異議なしと認め、さよう決定いたします。

本日の予定は以上であります。

これにて本日委員会を散会いたします。

お疲れ様でした。